



横尾中だより

校訓「自立」 〈学校スローガン No Challenge, No Chance〉

R5. 12. 05

第42号

発行者
長崎市立横尾中学校
校長 小浦 末浩

人権週間 12/4~12/10

昭和23年(1948年)12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたもので、人権保障の目標や基準を、初めて国際的にうたったものです。採択日である12月10日は、「人権デー(Human Rights Day)」と定められ、この日の1週間前からを「人権週間」(12月4日から12月10日)とし、昭和24年(1949年)から毎年、全国的に人権啓発活動が行われています。

現在も根深く残っているいじめや虐待、性被害等のこどもの人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別、部落差別(同和問題)、ハンセン病問題といった多様な人権問題が依然として存在し、さまざまな方々がその解決のために動いておられます。今年も『誰か』のこと「じゃない」というテーマでさまざまな取組が行われています。

さて、本校でも人権学習を進めています。11月28日(火)に1年生は「手話講座」を行いました。ろうあ協会から2人の方にお願いいただき、生徒に手話を教えていただきました。本校の生徒には、韓国語や中国語の簡単な挨拶も指導していますが、手話も1つの



言語として、「ありがとう」といった簡単な手話は身に付けておいてほしいと考えています。また、人権委員には、朝自習の時間に人権に関する絵本の読み聞かせなども行ってもらいます。

横尾小学校 もちつきマラソン大会

12月3日(日)には、横尾小学校で「もちつきマラソン大会」がありました。中学生へも伴走の依頼があり、26名の生徒が参加してくれました。大会は、小学生1年生から始まったのですが、全速で走っていく小学1年生に戸惑う中学生もおり、見ている我々引率者もハラハラドキドキのマラソン大会でした。今年は躍進賞みたいなもの(昨年度からどれだけタイムが伸びたか)や自己申告タイムに近い児童の表彰など、小学校も年々進化したもちつきマラソン大会になっておりました。開会式では、三浦育成協会会長さま、坂本横尾地区連合自治会長さま、河野横尾小学校校長さまのあいさつがありました。3人のご挨拶の中で、それぞれの方が中学生の参加をほめていただきました。参加した生徒たちもよい気分で伴走できたのではないのでしょうか。帰りには、つきたてのお餅もいただき、参加した生徒は、心もお腹もみたされたことと思います。中学校としても、よい機会をいただきましたと感じております。ありがとうございました。



インフルエンザに注意を

市内の小学校、中学校、高等学校では、早くもインフルエンザが流行し、学級閉鎖・学年閉鎖・学校閉鎖なども起こっているようです。県では、11月30日に「インフルエンザ流行警報」を出し、注意を呼びかけています。マスクの着用、換気、手洗い、うがいなど、感染防止対策をとり、感染しないようにご留意ください。12月1日の長崎新聞にも、長崎大学病院の森内浩幸教授のコメントが掲載されていましたが、急激な感染拡大で「休日当番の小児科には既に患者が押し寄せている」と医療のひっ迫状況について語っておられました。

特に、3年生は受験も近づいてきましたので、ご家族も含めてご留意ください。 [裏面に続く]

11月24日(金)の本校の研究発表会では、生徒も多くのことを学んでくれたようでした。何回かで、各学年の生徒の感想を載せます。まずは、今回は1年生の感想です。

私は今回韓国の学習をして、今まで知らなかったことを今回の学習でたくさん知れてとても良かったです。ゲストティーチャーと先生と友達の話をしっかり聞くことができました。できるだけ、韓国語も使うことができました。発表はできなかったけど、手はたくさん上げました。友達の発表も分かりやすく面白かったです。韓国のことは全く知らなかったし、興味もなかったけど、この学習をしてとっても興味を持つことができました。

今回の研究発表会では、いろいろな先生に褒められたり、韓国のゲストティーチャーにも楽しんでもらったので、すごく嬉しかったです。韓国のゲストティーチャーのスライドもすごくわかりやすく、日本語も上手で、すごくよくわかりました。韓国のゲストティーチャーに韓国語を教えてもらって、今まで知らなかった韓国語を学べて嬉しかったです。最後の写真撮影の時に、少しだけ、韓国語で会話したり、一緒に写真を撮ったりして嬉しかったです。

私は、韓国を調べた時、日本と韓国は国どうしは近いのに、こんなにも違いがあるんだなと思いました。初めは、K-POPなど、アイドルにしかあまり興味はなく、これを調べることによって韓国の食べ物や文化を深く実感することができました。そして何よりも韓国について興味を持つことができたし、韓国のいろいろな独特な食べ物や文化、学校生活やファッションについて知ることができました。また、発表をしたり聞いたりして韓国のすごいところや「なるほどなあ」、「そうなんだ」など、自分の知らない情報ばかりでびっくりしました。自分は「韓国についていろいろ知ってるでしょ」と思っていたけど知らないことがたくさんあってびっくりしました。そして、研究発表会でいろいろな言葉を覚えられて、日常でも使えることはたくさんあったのでびっくりしました。そして、とても楽しい勉強でした。

ゲストティーチャーが来てくださったおかげで、韓国についていろいろなことが分かりました。私も韓国のことはだいたい知ってたと思うんですが、友達の発表やゲストティーチャーの面白い話で、韓国についてより知りたくなりました。韓国と長崎とでは近いので、大体同じなのかなと思っていたけれど、友達の発表で食文化とかマナーとか違ったので、もし韓国に行く機会があれば気を付けないとなあと感じました。そして何より韓国語の長い発音は難しく、私にはついていけませんでしたが、なかなか生で韓国語を聞いたり、韓国出身の人と喋ったりするというのは滅多にないので素晴らしい時間であり、貴重な体験でもあったので良かったです。食文化のことや韓国語を教えてもらえてよかったです。ありがとうございました。

僕は、韓国の人のお話をよく聞きました。普段は話をじっと聞くのは得意ではないけど、今回はとても分かりやすく、聞きやすく、楽しみながら聞くことができました。大きな声で発音するという目標は達成できました。ゲストティーチャーの方の言ったとおりに言ってみると、韓国語って似ているのに全然違う意味があることが分かりました。今後、韓国語を使うときにはそういった点に気をつけて言ったり聞いたりしたいです。また、機会があったら聞きたいなと思いました。